

教育委員会定例会（平成25年10月）会議録

1 日 時	平成25年10月9日（水）15:00～17:00
2 場 所	新居浜市庁舎3階 応接会議室
3 出 席 者	委 員 長 宮内 文久 委 員 長野 美和子 三木 由紀子 伊藤 嘉秀 教 育 長 阿部 義澄 事務局長 藤田 佳之 総括次長 木村 和則 次 長 横井 敏行 坂本 睦美 課 長 加藤 京子 横井 邦明 渡辺 環 伊藤 繁次郎
4 教育長の一般報告	教育長の報告 9月分行事報告及び10月分行事予定について その他
5 記録者氏名	社会教育課 岡部 文仁
6 会議の概要	<議 案> 議案第30号 新居浜市市民文化センター運営審議会委員の委 嘱について <いじめ、不登校等生徒指導関係について> <その他> (1) 別子小中学校について (2) 学校給食費の未納状況等について

宮内委員長	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成25年第10回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、三木委員さんと伊藤委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成25年第9回定例会会議録の承認につきましては、長野委員さんと三木委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>9月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>16日 船木中学校以外の中学校で、台風の影響で延期されました運動会が、ちょうどよい湿り気の中で開催されました。船木中学校は17日に開催されました。</p> <p>18日 コミュニティカレンダーについて、船木校区での説明会に参加いたしました。</p> <p>19日 アームレスリング世界大会マスターズ90kg級で優勝した山内豊徳氏が市長表敬訪問され、新居浜市スポーツ賞を授与されました。</p> <p>20日 市議会本会議が開催され、委員長報告等の後、議案等についてそれぞれに議決をいただきました。</p> <p>22日 小学校の運動会が開催されました。各学校で競技の中で、郷土芸能や全学年での競技等いろいろな取組を工夫されてきました。教育委員会から来賓として参加していただきました教育委員さん、事務局の職員の方々ご苦勞様でした。感想等がありましたら後ほどご披露をお願いいたします。</p> <p>25日 中学校の市内一斉の「学校へ行こう日(デイ)」が実施されました。特別な行事で参観者を増やすのではなく、日々の授業の実践で保護者や地域の方々の積極的な参加を得ることができればと思います。学校では子どもたちに学力をつける改善が図られた授業を見ていただければと思っています。</p> <p>26日 新居浜東高等学校の3年生が中心になる高校生ボランティアサークルMayが、「交流一大体験ゾーン in 新居浜 私たちが創る未来へ」のテーマで29日に、今年で第2回目となるイベントを開催することを市長へ報告に来られました。</p> <p>27日 泉川公民館で泉川校区のコミュニティカレンダーについての説明会が開催されました。</p>

28日 愛媛県立新居浜特別支援学校の第3回秋季大運動会が「まぶしい笑顔 ひかる汗 ニイトク青春運動会」のテーマで元気に開催されました。昨年は、途中から台風の影響による降雨で競技が中止され大変残念な思いをしましたが、今年は素晴らしい運動会日和に恵まれて開催することができました。小学部から高等部までの約150名の児童生徒と指導の先生方の工夫が随所に見られました。

王子幼稚園と神郷幼稚園の運動会が開催されました。

29日 8月5日から8日までの期間に実施されました市PTA連合会主催の「陸前高田ボランティア活動と交流会」に参加した市内中学生48名とスタッフ10名の方々の活動報告会が開催されました。お手元に記念誌をお配りしています。市P連が募集して集まった子どもたち48名が、陸前高田市でボランティア活動をしてきたその報告書です。後ほどゆっくりご覧ください。

30日 第24回新居浜市中学生英語スピーチコンテストが実施されました。今年、市内10中学校からの代表弁論者と市内中学生、保護者、教員等約400人の参加がありました。第一席には、泉川中学校の田中 彩葉さんの「Thanks (感謝)」。第二席には、東中学校の高橋 絵里花さんの「Meet and Smile! (ミート アンド スマイル!)」。第三席には、西中学校の岡添 郁さんの「To Build a Good Friendship (良き人間関係を築くために)」が選ばれました。3名ともに美しい発音で、堂々と自分の考えを主張していました。

10月1日～2日 市内中学校新人体育大会が開催されました。お手元に団体競技の結果表をお配りしています。

1日 第28回新居浜市民俳句大会が183名の投句者(658句)の参加を得て開催されました。

3日 福岡県太宰府市議会から「障がいや発達課題のある子どもへの一貫した支援体制の整備について」の行政視察があり、発達支援課の取組が報告されました。

4日 市内統一小学校「学校へ行こうデイ(日)」が開催されました。

5日 別子銅山を読む講座「旧泉寿亭とその周辺の話」が別子銅山記念図書館で開催されました。

6日 第44回新居浜市民体育祭の開会式は台風の影響が心配されましたが、無事盛大に行うことができました。市民の体育向上

に貢献された新居浜市陸上競技協会 松木 博氏、新居浜市ハンドボール協会 加藤 久勝氏、船木校区体育振興会 合田 修身氏、宮西校区体育振興会 村上 恵一氏に新居浜市体育功労賞、また、全国大会で優秀な成績を収められたテニス競技の滝本 祐也氏、ウエイトリフティング競技の脇 光乃里氏、バウンドテニス競技の白石 祐司氏、ソフトテニス競技の矢野 美咲氏、伊藤 莉奈氏、バドミントン競技の橋本 友記氏、山田 智寛氏、セーリング競技の一宮グループ、米谷建設株式会社チームのみなさんに新居浜市スポーツ賞が授与されました。今後とも新居浜市民に夢や希望を与えてほしいものです。

平成25年度生き生き幸せフェスティバルが、ふれあいプラザで開催されました。

8日 第2回地域発達支援協議会がこども発達支援センターで開催され、平成27年4月開校予定の東予地域肢体不自由特別支援学校の設置説明や発達支援施策の取組状況について報告されました。

その他、10月の主な行事予定について報告を申し上げます。

- 11日 中学生海外派遣事業研修会・結団式・壮行会
(文化振興会館)
船木中学校ひびき分校運動会
人権のつどい日
- 15日～18日 地方祭
- 19日 中学生海外派遣事業研修会
(伊藤幸男氏講演会「アメリカでの滞在について」)
- 21日 中学校の修学旅行が開始
- 22日～25日 決算特別委員会
- 23日 第49回新居浜市小学校陸上記録会(東雲競技場)
愛媛県公立幼稚園教育研究協議会東予支部研究会
(王子幼稚園)
- 24日 第63回新居浜市美術展覧会前期展(～29日)
(郷土美術館)
- 26日 中学生海外派遣事業出発(～11月5日)
第58回秋の芸術祭(～11月4日)
(文化センター大ホール他)
- 27日 平成25年度新居浜市総合防災訓練(宮西校区)
SST研修会(ふれあいプラザ)

	<p>31日 第63回新居浜市美術展覧会後期展（～11月5日） 第51回愛媛県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会（新居浜西高等学校） 以上で、一般報告を終わります。</p>
宮内委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの教育長さんの一般報告について、何かご質問やご意見等はございませんでしょうか。 コミュニティカレンダーとはこれでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>はい。お手元に、横浜の東山田中学校区のコミュニティカレンダーをお配りしています。東山田中学校は平成17年に開校された新しい学校で、またその学校の中にコミュニティセンターが作られています。今、学校と地域との一体化という取組がされて、そして地域でどういう子どもたちを育てていくか、そういうふうな取組がなされています。それを全家庭へ、地域住民へ広げようとしています。学校支援地域本部事業、または来年度から実施しようとしているユネスコスクール等、やはり地域の支援をいただかなければならないことも多分にありますので、まずモデル的に船木校区と泉川校区でしたいと考えています。学校や校区の思いは、前のページに地域で学校支援地域本部として整理してもらい、実際の活動につきましては、児童生徒に関わる学校行事や地域行事をカレンダーに記入し、台所や子どもたちの自分の部屋に置いてもらいます。そして、子どもを持たない一般家庭にも配ることで、今小中学校がどのような行事をしているかというのがより分かりやすいというのが、このコミュニティカレンダーです。また、公民館を中心に小中学校の代表、地域団体の長が集まって話し合いをすることによって、行事への学校理解が進むのではないかとそのあたりを期待しております。一応両地区ともやろうということで、来年の5月の連休後には地域全体に配れるように、実行委員会を作って学校地域が進めております。</p>
宮内委員長	<p>ゆくゆくはこの新居浜全域で、運動を広めていこうということですね。</p>
阿部教育長	<p>そういうことになればいいです。ただ、強制することはできないので、まずはモデル地域ということでやってもらいます。</p>

宮内委員長	他にご意見ご質問のある方はいらっしゃいますか。
阿部教育長	<p>先ほど言いました陸前高田ボランティアの生徒たちの感想などがあるのですが、特に3班、6班、7班、8班の子どもたちを見ていただけたらと思います。まずは11ページの真ん中に「支援はブームじゃない、絶対に忘れてはいけない、完全に復興するまでは、どんなに小さなことでもいいから、僕たちにできることをやり続けましょう。」とあります。やはり、あの震災から1年目2年目は、各学校でもすごくいろいろ取り組んだと思います。しかし、今はもう復興しているのではないかとマスコミなどに言われていると思いますが、実際はそのようなことを感じた子がいます。23ページの真ん中には、「僕は「家があるということ」「帰る場所があること」この二つが当たり前だと思っていたけれど、全く違うことをこのボランティアに参加して思い知りました」と、また、27ページの上から4行目には、「実際に行って思ったことは、まだぜんぜん復旧が進んでおらず。思っていたよりも復興まで進むのに時間がかかっていたことです。自分の中では、もう家もほとんど建てられていて、少し震災のおもかげが残っているくらいかと思っていたので、実際に見たこととぜんぜん違っていたので、とてもおどろきました。」と、そして、32ページの上から3行目には、「3年の月日が流れ、「復興が進んでいる」という明るい報道に、私たちは安心感を覚えているだろう。だが現実は大きく違った。「まだ復旧段階なのに復興なんてとんでもない。」とあります。</p> <p>マスコミで流れていることと実際に行って見た時の違い、私も直接行った子どもたちから「路地へ入ったら全く進んでいないし、海岸淵は全く手つかずの状況」ということを聞きました。また記念誌を読んでいただければと思うのですが、直接現実を見た子どもたちの参考意見、やはり同じ日本人、または同じ中学生として東北にかける思い、1番最初にあったように「今後もやっぱり支援していくことが必要なのではないか」という子どもたちの感想を大事にしていきたいと思っております。</p>
宮内委員長	<p>ありがとうございました。他に何かご意見等ございませんか。</p> <p>それではここで、9月16日に開催されました中学校の運動会、22日に開催されました小学校の運動会に出席いただいた委員さん、課長さんに、一言ずつ感想をお願いしたいと思います。</p>

<p>長野委員</p>	<p>私は、16日に泉川中学校の運動会に行かせていただきました。他の中学校と違うなと思ったところは、校長先生のお話にもあったのですが、色別に分けるのに、生徒たちはその色に合わせたTシャツを着ていました。これは去年からできたそうです。去年大変暑くて運動会の時に子どもたちに帽子を被らせたいということになったけれど、帽子を被るとはちまきで色分けするのが非常に難しいということで、Tシャツでということにしたそうです。非常にカラーが強烈で、そして目に見える形だからでもあるのですが、一体感というのが見た感じでも分かりました。生徒たちも真剣で本当に明るくて楽しそうに競技をする中で、先生方も応援や実際に競技にも加わるなど一生懸命生徒たちと活動している様子が見られました。それから、競技の時頑張っているところには声援があるのですが、惜しいとか残念とかもうちょっとという時にも、観客や地域の方が温かい声援を送っていて、学校と生徒と地域の方たちのつながり、結びつきの深さというものを感じて、ほのぼのとした気持ちになった運動会でした。大変よかったです。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>私は、中学校は東中、角野中を見せてもらいました。自分が現場にいた時はそうでもなかったのですが、この2校については、先生方の服装が上着を統一したり、背中に合言葉を書いていたというような形の意識統一が見られたと思います。</p> <p>小学校は神郷、新居浜、船木に行かせてもらいました。この3校とも、地域の伝統文化を全校で、また学年を統一して行っていました。神郷小は神郷史情を4年生で、船木小は雨乞音頭を全校で地域の人も一緒になって踊っていたという姿がありました。やはり、今ふるさと学習というような形で、地域とのつながりということを大事にしていく必要があるのではないかなと思っております。</p>
<p>藤田事務局長</p>	<p>16日の南中学校の運動会に行ってきました。あいにく前日の予定が雨で流れたのですが、その影響で種目が複数削除されてしまい、子どもたちはせっかく練習したのにかわいそうだなと感じました。お昼頃からは暑くなってきたのですが、中学生は大変元気で、のびのびと笑いながらというか微笑みがこぼれるように競技をしており、本当に楽しんでいるんだなという思いを持ちました。</p>

<p>木村総括次長</p>	<p>私は角野小学校の運動会に参加させていただきました。角野小学校の運動会はグラウンドの南側に山根グラウンドにもあります石段の自然の観覧席があるということで、保護者の方はそちらを使つての観覧ができるということで、グラウンドの中は割と子どもたちもゆったりした形でテントを設営したり、競技をしたりしていました。ゆったりしているということもあるのですが、トラックの周りには保護者の方用に撮影スペースが設けられており、そこでたくさんの保護者の方が子どもたちの勇姿をビデオで撮ったり、写真で撮ったり、熱心な応援をされているなということを感じさせていただきました。また、入場行進の中で、別子小学校の児童2名も参加されていました。</p>
<p>横井次長</p>	<p>16日、大生院中学校の運動会に行つてまいりました。雨がたくさん降っていたのですが、水はけもいいし整備もされていたので、時間も予定どおり始めることができました。運動場は水はけがやっぱり大事だなと思いました。小さい学校なので全部で5クラスしかなく単級の学年があるということで、学級対抗ではなくて中1中2中3が学年を外して全校で争うという競技があるのが、大生院の特徴かなと思いました。小さい学校ですので、ゆったりした感じでした。</p> <p>22日、高津小学校の運動会に行つてきました。高津の場合は非常に大きい学校なので、朝などは前の道路が混雑しているのですが、地域の方々も協力してくれて交通整理をしたり、駐車場にもたくさん出ていただいており、大変ありがたいなと思いました。1つ時代が変わつたなと思ったのが、ダンスで今年の初任者の先生がマイケル・ジャクソンがしているような踊りを子どもたちとしているのですが、男性の先生がすごく上手で僕たちの時代とは変わつたなということを感じました。子どもたちも元気に頑張っていました。</p>
<p>加藤学校教育課長</p>	<p>船木小学校の運動会に行つてきました。私事ですが母校でございまして、数十年ぶりに行き懐かしく思いました。子どもたちは上級生が進行係や道具の片付けなどを率先してするのですが、それが見ていてきびきびしていて本当に気持ちの良い運動会でした。下級生の子たちも、何もお手伝いができなくてもニコニコしながら応援しており印象的でした。</p>

坂本次長	<p>川東中学校の運動会に行ってきました。前日の雨のため、教職員、P T Aの皆様が早朝から運動場を整備しており、30分遅らせて9時30分より開始されました。ブラスバンドの素晴らしい演奏と共に入場をして、担任の紹介をしながら子どもが作ったクラスの旗を持って行進しておりました。全体的に競技は、先生たちと一体となって大勢の生徒たちが楽しんでいたことが印象的でした。</p>
伊藤学校給食課長	<p>大生院小学校の運動会に行かせていただきました。昨年度は高津小学校に行かせていただいたのですが、大生院は横井次長がおっしゃっていたように小さな学校で、ほのぼの感のあるとてもいい運動会でした。種目の中に、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生という学年を越えたグループを作って競技が進められたのがあり、他の学校にあるのかなと思ひまして、この素晴らしい学年差感、1年生と6年生が競技をするというほのぼの感などを感じて感激して帰ってきました。</p>
渡辺発達支援課長	<p>9月28日土曜日に神郷幼稚園の運動会に行ってきました。予定どおり行われ、天候も良く、気持ちのよい涼しい気候でした。年長年中の各4クラス、計81名の園児たちが運動場をいっぱいを使い、普段の練習の成果を見せていただきました。障害走の中には、大きいボールや小さいボールなどいろんな種類のボールを用意され、それをちりとりの中に入れて競技をするといった生活経験を取り入れた競技内容であり、走った途中にカードが置いてあり、裏返すと3・2・1と書かれており、出た数の段ボールを運ぶというような競技もあり、本当に年齢にあった工夫がされており、楽しく拝見させていただきました。感動したのが保護者や祖父母の競技なのですが、競技内容を保護者会が考え、その後幼稚園側と一緒に検討したということですが、背中のところにはゼッケンのようなものを貼り付けているのですが、そこにはおばあちゃんやお母さんなど参加者の名前が書かれており、園児さんの名前も書いていて、下の方には子どもさんからの応援のメッセージというものが書かれておりました。皆さん、応援を背にして「頑張るぞ」というようなポーズをとりながら演技しているのを微笑ましく感動しながら見させていただきました。幼稚園と保護者とが一体となって子どもを主役にした運動会でした。また、発達に支援が必要なお子さんも何名かいらっしゃったのですが、適切なサポートがありまして、他の子ども</p>

<p>横井スポーツ文化課長</p>	<p>もたちと一緒に自分の演技をスムーズにこなし、楽しんでいる姿が印象的でした。本当に自信につながるような参加の仕方だったので感動いたしました。最後にバルーンで締めくくられ、とても華やかな運動会でした。</p> <p>北中学校の運動会に行ってきました。水はけが悪いことで有名なグラウンドですので16日の開催も非常に心配されていたのですが、早朝からPTAの皆様の頑張り、並びに生徒の皆さんも実際に土砂を入れるということで非常に頑張っておられました。そういうふうな皆さんのご努力によりまして、開催予定時刻の1時間遅れで10時から開催することができました。予定されていた種目からPTA参加の種目のみ割愛があったのですが、他の種目につきましては無事予定どおりに開催することができました。とりわけ北中恒例の生徒全員が参加します応援合戦。これにつきましては、昨年までは3チームあったのですが、人数が減りまして今年は2チームだったのですが、1年生から3年生全員が参加しての2チームで、3年生が1年生を教えながら応援合戦を行うというようなことを北中ではしております。それぞれの団、今年も非常に素晴らしい出来で、チームワーク並びにその熱気が伝わってきまして、双方とも素晴らしくて感動いたしました。来年度にはグラウンドの水はけも良くなるとお聞きしていますので、さらなるパフォーマンスの向上を期待しています。</p>
<p>三木委員</p>	<p>私は角野中学校と、浮島小学校に行かせていただきました。まず角野中学校ですが、朝グラウンドの状態も非常にいい状態で、皆さんが一生懸命整備されていた様子が伺えました。生徒が競技に対して一生懸命しているということはもちろんなのですが、競技を支えている審判やゴールテープの係などが、係同士で教え合う姿というのが本部席からよく見えて、そちらの方もいいなと思いました。あと、来賓席の隣に敬老席がありまして、そちらの方から心温まる言葉が飛び交い、お孫さんだけにではなく、地域の子もたちという気持ちで本当に一生懸命応援して下さっている様子が伝わってきて、非常に嬉しく思いました。</p> <p>浮島小学校の方は、地域の方々との合同運動会ということでされていますが、児童の皆さんの可愛い演技、そして大人の方が今度は自分たちもということで借り物競争だったり、玉入れだったり、大</p>

<p>伊藤委員</p>	<p>人の方もチャレンジしながら児童の一生懸命さを見習いながら、大人も子ども一緒に楽しんでいるような雰囲気になりました。障がいを持たれている方もいらっしゃるのですが、それぞれに工夫を凝らして競技と一緒に参加できるようにサポートして下さい、皆さんもさりげないサポートをしておられるなど感心させられております。</p> <p>1つ興味深いなと思ったのが、お昼に児童を親御さんにお渡しする時に、災害時を想定して、児童の皆さんをきちんと保護者の方に受け渡すという訓練をしておりました。防災を意識しており、改めて運動会というのは学習する場なんだなとこちらも勉強させていただきました。</p> <p>16日に中萩中学校、22日には中萩小学校に行かせていただきました。中萩中学校は、やはり朝早くから、先生、生徒、保護者の皆さんで水たまりの水を掬い取ったり、吸ったりという作業をしていただきまして、1時間遅れで始まりました。中萩中学校の場合は昨年と一昨年、雨の影響で短縮プログラムになるなど、通常の運動会ができておりませんので、畑野校長先生以下先生方の願いとして、3年生に通常の運動会を経験してほしいという思いもありまして、先生方が一生懸命水を吸い取って、グラウンドを整備していただきました。お陰さまで通常プログラムが予定どおり行われまして、3年生もなんとかすべてのプログラムをこなすことができたというような運動会でした。その願いも叶い、1年生から3年生まで非常に元気のいい運動会ができておりました。</p> <p>中萩小学校の方ですが、天候は非常に良く、県下最大級の児童数ということだけあって、天気がいいと砂埃が大変舞い上がるということで、そういった運動場の中で運動会が実施されました。特に先生方は進行の時間に気を遣って競技が行われ、人数が多い分そういう面に気を配っておりました。児童数も多いのですが観客の数も多く、1番前の方は運動場にシートを敷いて座っておられ、次に立って見られる方、今度は後ろに脚立を持って来ている方がおられ、脚立も低中高と工夫されていました。そういった校庭のもとで、元気に溢れた、喜びに溢れた運動会で大変よかったですと思います。</p> <p>東中学校に行ってみりました。小学校中学校の運動会は昭和30年代に経験しておりますので、うんと時間が経っているのですが、子どもさんが運動会に協力的で、いろんな係で参加されていた</p>
<p>宮内委員長</p>	<p>東中学校に行ってみりました。小学校中学校の運動会は昭和30年代に経験しておりますので、うんと時間が経っているのですが、子どもさんが運動会に協力的で、いろんな係で参加されていた</p>

	<p>のが感動的でした。私たちの頃は、走ったら1番の人は1番の旗に、2番の人は2番の旗に、3番の人は3番の旗のところに行っていたのですが、今は、旗が立っているので何だろうと見ると、クラスの旗が立っていました。昔と違うんだな、1番だったらノートと鉛筆がもらえて、2番だったら鉛筆だったのにと思いながら、懐かしく運動会を見ました。来賓席のあたりでは、いろんな方の交流がありまして、やはり学校というものは、学校だけで存在するのではなくて、地域と結びついたのが学校なんだなということを実感させられました。</p> <p>それでは、議案審議に移ります。本日の議案は、第30号の1議案でございますが、人事案件でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第37条の規定により、この会の最後に非公表で審議させていただきますと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p>
委員一同	はい。
宮内委員長	<p>ご異議がないようですので、最後に非公開で審議させていただきます。</p> <p>それでは、いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p>
宮内委員長	ありがとうございます。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。
伊藤委員	Q-Uのご説明ありがとうございました。Q-Uの結果が初めて出てきて、先ほどお話を伺いさせていただいたように、これまで先生方が見ていたよりも、違う角度で子どもたちの内面が見えてくるようになったと考えてよろしいですか。
阿部教育長	そう思っております。なお、7月末に結果が帰ってきて、8月中にQ-Uを作った河村先生による講演や学年団での生徒理解を進める学年会、学校職員会等を実施してもらっております。そういう形で、いろいろ使われているのではないかと思います。今後には

<p>宮内委員長</p>	<p>つきましては、11月に第2回目の調査をして、3学期にどうい う変化があるか期待していきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。それでは、その他に移ります。</p> <p>別子小中学校についてでございますが、お手元に資料を4種類お 配りしています。別子小中学校について、少し動きがありました。 先日、別子小学校に關しましての陳情があり、陳情者の意向もあり まして、委員長として私と事務局長がその対応をさせていただきま した。ところが、本日になりまして陳情撤回申出書が提出され、請 願としては取り扱いませんが、そのような経過があったことをご承 知ください。</p> <p>私が別子小学校の親御さんと話し合いをしました時の報告書が あります。これは話し合いをした親御さんにもお送りし、間違いが ないか確認して、提出しております。報告書の内容を説明しますと、 これまでの経過ですが、保護者の方としては、集団教育は必要な のではないかと、子どものコミュニケーションを高めたいということで 模索をしたが、最終的には連合自治会と折り合いがつかないので、 署名活動を行うことになった。住民登録した方々が約180名、別 子山地区在住者は約120名でそのうち80名から署名をいただ いているので、この署名活動は大きな意味を持ったのだろうと発言 されました。その後、教育長室で私と4人の方たちと話をしたと ころでは、4点意見を述べられました。1つ目は、休校にするかどう かは別にして、別子山地区をなんとかしたいという思いはみんなと 同じである。2つ目は、もしも角野に行くのだとしたら、行くとき は地域バスを利用して、帰りはスクールバスか何かの手段をとって いただければ、教育委員会、新居浜市の負担は少ないのではないかと いうご意見でした。3つ目は、別子校区連合自治会とは意見交換 が円滑に行えない状況にあるということで、署名活動をして教育委 員会に提出したということなのですけれども、お手元にありますよ うに、今日会って、陳情撤回申出書を受け取り、お話を承ったので すけれども、これは子どもさんの教育を何とかしたいこと、別子山 地区に学校を残したいという自治会の皆さんともう少し本音で話 し合ってもいいのではないかと、話し合う機会を持とうということ で、連合自治会と意見交換が円滑に行えない状況にあるというの は、署名活動によって少し改善されたものだと思います。4つ目は 保護者の皆様の率直な意見だと思うのですけれども、小学校を休校</p>
--------------	--

木村総括次長

にすると地域がもっとさびれるのではないかと地域の皆様からいろいろ意見を賜るのだけれども、自分たちは親としての気持ちを優先したいという結論に至ったということでございました。報告書と陳情書、陳情撤回申出書によく目を通してください。

また、別子小中学校に関しては様々な事実経過、討論経過がございますので、それについては事務局の方でまとめていただきました。この内容について説明をお願いします。

では、お配りしてあります別子小中学校に関する経過をご説明いたします。別子山村と新居浜市が合併したのが平成15年4月ですが、合併協議に入ったのは平成13年の時点で、当時の和田別子山村長から新居浜市の山中企画調整部長宛てに、「住民が不安としている点として小・中学校の存続があげられており、その理由としては、他地区への通学は距離、時間、本人・保護者への負担が多くなる」ということで通知されております。翌平成14年6月に、新居浜市・別子山村合併協議会の合併協定項目の中に、「学校教育事業については、引き続き教職員の資質の向上や施設の整備に努め、教育環境の充実を図るものとする」という項目を入れられております。同年10月には、新居浜市・別子山村合併協議会が策定した新市建設計画の生活環境という項目の中に、「小中学校等各種公共施設の維持存続を図る」、(1) 学校教育の充実ということで、新しく合併した市の建設計画の中で、学校教育の充実が言われております。

その後、昨年平成24年8月に、当時翌年度新入学予定の児童保護者から指定学校変更希望申請に関する要望があり、8月の教育委員会定例会において自由討論という形で討論していただきました。翌9月の定例会の中で、この申し出につきましては不採択ということで決議されております。10月に、当時の別子小中学校PTA会長筒井様から教育長宛てに、「別子小中学校に係る要望書」ということで、学校存続に向けてスクールバス運行等の要望が挙げられておりますが、翌11月の定例会において自由討論の後、議案審議という形にさせていただいて不採択という結果になっております。

今年度に入りまして、7月に現在の別子小学校に通われている児童の保護者の方から、「別子小学校について」ということで、保護者の意見をまとめられたものが提出されて、現在7月8月9月の定例会の中で自由討論という形で審議していただいております。10

<p>宮内委員長</p>	<p>月2日、10月9日につきましては、委員長がおっしゃられたとおりとなっております。</p> <p>ただ今の経過説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>1つよろしいですか。平成24年10月30日にスクールバスの運行について要望したということですが、スクールバスを出すということは、要するに別子小中学校を休校にしてほしいという要望だったのでしょうか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>この時の話は、別子小中学校と大島小学校は小規模特認校というふうに決められておりました。大島小学校は休校し、今は廃校となりましたが、別子小中学校については特認校ということで、新居浜市内から別子山に行くことについては認めますよという制度は残っています。何とか別子山を存続させたいという思いです。しかし、行くための交通手段がないということで、6月の教育懇談会の時に、新居浜市内の中から別子山の小中学校で勉強したいという子どもがいれば、教育委員会でスクールバス等を確保して、別子山へ通学させるという話を持って行った時に、別子山がまとまらず、それで中断しました。そのことを10月に申し出てきて、それでは別子山の保護者で一致団結して以前提案した内容でいいのですか、PTAの会長さんだけでは困るので全体でもう一度、市内から子どもが来ることを認めるのかということをお話し合いしてほしいと言いましたが、それはまとまらなかったという話をもらったので、11月に不採択となりました。</p>
<p>宮内委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見ご質問ございませんか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>先ほどの宮内委員長さん、また事務局の経過等を聞かせていただいて私が感じるのは、保護者の方が意見を出された本意、集団教育を受けさせたいというその気持ちと、それと連合自治会長さんと話し合いの中に加わっていただいたとあるのですが、連合自治会としては過疎の地区として少しでも過疎に流れ込む要因を減らしたいというお気持ちがあると思うのですが、私には両者とも実は本質的には同じではないかなと思います。要するに集団教育をさせたいという親の気持ちというのは、別子の小学校、中学校の児童数が多く</p>

	<p>なっていればいい訳でして、またそれには地区の自治会の皆様にとっては、人口が少しでも増えるような方法があればそれをやってみたいという思いもあるのではないかなと思います。こういった経過があったということは、教育委員会だけではなく、事務局の方からあるいは教育長の方から、市長部局等にお知らせしていただき、今後過疎の地区に関して少しでも改善できるような方策とか助成とか、先ほど教育長さんもおっしゃられていたように下からお子さんが上がって行って別子が潤うようなことがあるのかということ、こういった経緯があったということを知っていただいた上で、少しでも模索をしていただければと思います。</p>
<p>宮内委員長</p>	<p>そこで私の報告書の教育長室での皆さんの意見にあるように、別子山地区を何とかしたい、過疎から何とか抜け出したいというその思いはおそらく同じで、要するにどちらから見るか、小学校の保護者の立場として発言するのか、地区住民校区住民として発言するかによって、結論が違ってくるのだらうと思います。問題は、私たちが小学校に通っているお子さんたちを何とかしてあげたい、教育委員会という立場から過疎での教育が本当にこれでいいのだろうか、具体的に別子小学校中学校が、このまま陳情書が撤回されたからといって本当にこのままで保護者の方たちは満足して子どもたちを学校に通わせることができるのだろうか、何か方法はないだろうかということでは何かご意見ございませんか。</p>
<p>三木委員</p>	<p>別子の方から出ている要望も教育のことと別子山のことであり、それを受ける側も教育で考えていくのか、新居浜市として考えていくのかだと思えます。1つその中で先ほど説明していただいて疑問に思ったのは、平成14年10月28日に合併協議会が策定した新市建設計画の有効期限と言いますか、これがまだ生きていて、小中学校を維持存続ならびに充実という方向に新居浜市がもし考えているのであれば、話が変わってくるような気がしますし、新居浜市としての考え方というのは現状どうなっているのか、分かる範囲で教えていただけると助かります。</p>
<p>木村総括次長</p>	<p>新市計画、合併協議会というのがありまして、合併協議会自身は既に解散しております。新居浜市として合併協議会で決められた新市計画の実施を全てやらないといけないかとは別ですが、やれない</p>

<p>宮内委員長</p>	<p>という判断はまだしていないという状況です。この項目だけではなくたくさんあるので、それぞれについて全部今までにやりあげてきた項目だけではないので、いつかの時点で新市計画についてどう扱うかという判断は新居浜市の方でしていただく必要があるとは思っております。</p> <p>実は、保護者の方4名の方といろいろ話をして、3日くらい悩みました。とにかく、陳情書を受け取った者の責任として何か対応はないかいろいろ考えました。まだどなたにも話していませんが、1つのアイデアとして皆さんにお示しして、皆さんのご意見を賜ればと思います。教育には個別教育と集団教育それぞれあるのが今確かで、国語や算数というのは個別教育が馴染む科目だと思います。集団教育がいい科目としては音楽かもしれない、体育かもしれない、理科の実験かもしれません。月曜から木曜までは別子小学校で個別教育をどんどん充実させて、金曜は朝、地域バスで角野小学校に行って、角野小学校の同じ学年で同じプログラム、例えば音楽とか理科とか体育をして、帰りは提案にあるように放課後児童クラブでみんなが集まって別子に帰るという毎週月曜から木曜までは別子小学校で教育を受けるけれども、金曜日は集団教育を受けるという案はどうかと思って皆さんに一度考えていただければと思います。実は、私の子どもがアメリカに行った時に、アメリカの小学校中学校は同じクラスだけれど、進んでいる子はどんどん先に進んでいます。本を読んで、ここにはこんな内容が書いていましたと先生に説明して、先生からOKが出たら次の本に移ります。算数は問題を解いたらどんどん先に進みます。アメリカの小学校では個別教育をクラスの中でしているので、国語や算数はそういった方法で別子山でも充実してできるかもしれないが、やっぱり音楽や体育というのは集団教育が必要かもしれないので、そういった方法がとれないかなと考えました。そして、地域の方には非常に申し訳ないのですが、別子小学校を休校にして角野分校にしてしまうのはどうか、角野分校だと本校に通うということで、私たち教育委員会として手を差し伸べることができるのではないかとというのが私の非常に乱暴な意見でした。ただ、角野分校にしてしまうと別子小学校中学校の歴史が途絶えてしまいます。せっかく別子地区にある歴史ある小学校中学校を潰してしまうのはどうかと非常に悩んで、どうすればいいものかと考えていました。休校にしてほしいという要望</p>
--------------	--

	<p>は、撤回書が出たので幸い休校にはしなくてよくなりましたが、保護者の皆さんの思いはいまだに続いていると思います。地域の自治会と話し合っても、なかなか結論が出ないうちに来年の4月を迎えてしまうという危険性があるので、それでしたら私個人として皆さんにご提案ですけれども、月曜から木曜は別子で頑張ってください、金曜日は角野小学校と一緒にやりませんかというような学校を越えた教育が可能なかどうか、週に1回地域バスとスクールバスを組み合わせると登下校することは可能かどうか、これ以外にもっといいアイデアがあるかどうか、皆さんでご審議いただければと思います。これはあくまでも私の個人的なアイデアなので、どなたにもお話しておりません。今ここで、このアイデアのいい点、悪い点、もっといい案があるということをご皆さんで是非考えていただければと思うので、突然の提案で申し訳ないのですが、ご討論いただければと思うのですがいかがでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>まず、伊藤委員さんから「現在別子小中学校の件について市長部局の対応は」というお話があったかと思うのですが、市長にはこの経緯等については報告しています。</p> <p>次に、今言われたことについてですが、研究してみる価値はあると思います。ただ、相手側の授業を全部1つの曜日に集めることができるかどうかは難しいと思います。また、先ほど運動会の報告があったと思いますが、遠足や修学旅行、音楽会等、また中学校では弁論大会や総体など、そういう市の行事には合併してからこれまで、別子小中学校の中で参加したい生徒がいたら常に参加しています。運動会も、別子地区でも運動会をするのだけれども、角野小学校の運動会にも参加しますし、角野小と別子小の交流会という形で音楽会も現在一緒にしています。その時も学級の中に入って学級に所属してやります。学校の行事として参加しているという形です。具体的にこれまでどれだけのことをしたか、全ては今言えませんが、私の記憶では先ほどの運動会、音楽会、総体のことが挙げられます。そして、その交流するための交通費は支給していると思います。</p>
宮内委員長	<p>私の提案は、今まで学校行事は別子小学校と角野小学校が一緒にしてきたけど、それ以外に授業を一緒にやってみないかということです。ただ、これは受け入れる角野小学校の方に非常に負担をかけることになるのではないかと、実際に実践するとすると大きな問題が</p>

<p>三木委員</p>	<p>生じるのは承知しておりますが、そうすると、別子山の保護者の方の「集団教育を受けられない」「子どものコミュニケーション能力を高めることができない」というご不満は、少しは解消できるのかなと思います。例えば金曜日と言いましたが、月や週によって曜日を変えるとか方法はあると思います。</p> <p>宮内委員長さんのお話を聞いていて思ったのですが、特別支援教育の中で、通級制度という別の学校にも行って勉強する制度があると思います。それは特別支援教育の枠内だと思いますが、別子山の生徒さんというのはある意味サポートを必要とする方と考えれば、今ある枠組みを広げる形でうまくいく方法が見つかればいいな、その通級制度の違う形、拡大版のようなもので何かできればと思います。ただ、学校の制度上というのはきっちり決まっている中で動いていますので、本当に難しいことだとは思いますが、やはり子どもがこの学校に行ってよかったなとか、あそこであのような教育を受けて本当に良かったなというような思いを保護者の方に持ってもらえるように、何とかできることはして差し上げたいと思います。できないことは仕方ないので、できない部分は保護者の皆さんに分かっていただいて、できる範囲で何か策があればなと思います。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>宮内委員長が言われていた具体的なお話というのは、ここで委員長さんのご意見を基にお話しすることはできるのですが、より広く意見を求めて頂いて、やっぱり子どもに近い現場の先生方にも考えていただくのが一番理想的ではないか、ここで出来上がったものを現場に押し付けてもしょうがないなと思います。そういった意味で、今年度秦校長先生が角野小学校と別子小学校を兼任していただきましていろいろ考えていただく中で、今年の別子校区の教育懇談会の中で「角野小学校の遠足に参加して、お友達ができて非常に良かった」という子どもさんの感想が聞けて、私共にとっても非常に良かったという喜びがありました。校長先生も含めて学校の先生方は一生懸命考えていただいているのではないかなと思いますし、よりそれが少しずつ身になっていけるような方向で皆さんに頑張っていたきたいなと思います。</p> <p>ただ、私が一番気にしていることは、先月もお話させていただいたのですが、今回保護者の皆様が意見を取り下げたということで別</p>

長野委員

子小学校は存続するのですけれども、今後障がいを持たれた方が別子小学校に進路希望をされた時に、果たして旧新居浜市内の学校と同じような教育、支援ができるのかどうか、例えば支援員さんを派遣するようなことにおいて予算を確保していただけるのか等、そこはやはり局長をはじめ皆さんで、事前によく調査していただきたいなと思います。

ただ、具体的に子どもたちの移動とか、曜日のカリキュラムについては、お子さんにより近い先生方が意見を出していただいた方がよろしいのではないかなと思います。

今日、陳情撤回書を見て非常に驚いております。どういうふうに考えたらいいのだろうと思っているのですが、やはり別子地区の中でまだまだ議論がこれからも二転三転していくのかなという感じがします。保護者の方の思いというのは最初からずっと、市内の子どもたちと同じような教育環境、集団の中で学習させたいという思いで来られているし、地域の方は地域の方の思いがおりでしょうから、なかなかすぐに結論は出ないと思うのですが、小中学校の存続ということについては、皆さん考えておられるのではないかなと思います。宮内委員長さんの報告書にもありますように、別子山地区を何とかしたい、過疎から何とか抜け出したいという思いは皆さん同じですし、教育委員会もまた同じ思いだと思います。その具体的な方法について、先ほど教育長さんから実際やっていることのお話がありましたが、誰かにしてもらおうということではなく、地域の方、教育委員会、そして保護者も入って、休校するかどうか以前にまず、何とかして子どもたちにこの別子に来てもらえるような魅力のある学校にするというようなことを議論する場を持てたら、保護者の方にとっても、みんなでそのようなことを考えているという思いがあれば、相反したままでいるよりは、地域の方と結びつきとかお互いの意思の交流もできるし、分かり合える部分も出てくるのではないかと思います。それがどういうふうにしてできるかは私自身も分からないところもあるのですが、例えば自治会の会長さんとか、それぞれの地域の中心になられる方々と保護者と市で関わって、定期的に何か具体的な話をしていくというようなことはできないものなのかと考えます。それは直接的にすぐに結果が出るという問題ではないので、子どもたちのこれからの進路については課題が残るのですが、このようなことをしないと、同じ地区に住みながら

阿部教育長	<p>気持ちの上でわだかまりを持って生活していくというの、地区全体として、新居浜市としてもあまりよろしくないことなのではないかと思います。非常に抽象的な話ですが、そのように考えております。</p> <p>平成23年の時から、生徒が減る、休校しなくてはいけないということは分かっていたから、何とか子どもを増やしたいというようなことを提案してきたのだけれども、理解が得られませんでした。もう一つ言えば、平成15年に何とかしたいということで、山村留学というのを提案しました。教員住宅を保護者へ転用を図るというように特例を設けて規則を改正し、利用された方もありました。しかし、時間、距離、子どもの体力差を考えると、大島と新居浜市内との距離、別子と新居浜市内との距離を考えた時に、やはり限界がありました。成長期の子どもの体力にとっては、あまりにも大島と別子は違いすぎました。そういうことで、工夫したことも受け入れられなかったことが今一番残念に思っています。しかし、関係者全部がよかったというような思いを持てる方策でなければ、行った子どもが苦しい、辛いような思いをすることは推薦できないので、頓挫した訳です。</p>
長野委員	<p>その時に、地域の方とか地元の方から、何か提案はなかったのですか。</p>
阿部教育長	<p>保護者は、角野に下りるという意見です。</p>
宮内委員長	<p>今と全く同じ議論が続いているのですね。他に何かご意見はございませんか。</p>
三木委員	<p>今決めれる問題ではないのかもしれませんが、今日の段階で、来年度に向けて今後どうしていったらいいのかという点、例えば、入学のタイムリミットだったり、休校するかしないかのタイムリミットだったり、今年度はこうするけれども来年度以降はこうするか、そういうスケジュールはどのようにお考えですか。</p>
阿部教育長	<p>請願書が取り下げられて、休校ということについての要望がなくなりました。そして、教育委員会としてもアンケート調査をして各</p>

<p>宮内委員長</p>	<p>児童にも思いを聞いたところ、今現在在籍している2名のうち1家庭1児童は「別子にいたい」と、2回確認して2回とも言われています。今、教育委員会では校区制というのがあって、そしてその学校へ行きたいという児童がいます。この児童を、意見が分かれているからということで、角野に行かせますか。事務局長や学校教育課長に聞いてもらったところ、この児童は「自分は別子小学校でよかった」と言っています。それなのに、「いや、それではいけないのでこちらの校区の学校に行きなさい」と、夏場で40分、冬場バスが通れない場合は三島経由で1時間20分かかる通学をさせるのかどうか、他の子どもよりも朝1時間、夜1時間は睡眠時間等が減ってきます。そういうことも考えて、新居浜市教育委員会で「別子小中学校を潰します」とは、私は言えません。学校の存続ということは、最終的には市長決裁の話にはなるとは思いますが、自分はそのような提案はしません。それだけ地域を愛して、そこでやりたい、そこで過ごしたいという子どもがいるという報告を受けていますので、その子どもも支援する必要があるということだと思っています。それともう1つは、法的に別子山校区があるということで、休校の要望を取り下げたとしたら、規則どおりにしていくしか方法はありません。ただ、宮内委員長さんが言われたように、今までは単発的だったけれども、曜日決めて行くというような1つの取組方によって、どれだけコミュニケーション能力を高めたり、集団生活を楽しむことができるのかというのは、1つ意義があるのではないかと思います。しかし、それが可能であるか、それで納得されるのかということもありますので、それは今後のことだと思います。まずは清々粛々にやっていくのが教育委員会だと思っていますので、ルールどおり判断すべきだと私は思っています。</p> <p>今教育長さんの発言にありましたように、請願もなくなった以上、別子小学校中学校を休校にするか廃校にするかという議論は、教育委員会としては馴染まないもの、存続するのは当然だと思っておりますので、この議論はとにかく別子小中学校は存続するという前提で進めたいと思っています。</p> <p>みなさまのご意見を承りますと、これまで、1番は山村留学、2番はスクールバスを運行して別子小学校中学校に子どもを送りたいという取組、3番目は角野小学校と行事を合同でしているという取組、こうやって教育委員会として様々な取組をしてきたとい</p>
--------------	--

	<p>うことは事実だと思うし、それは別子山地区の皆さん、新居浜市民の皆さんにご理解いただきたいということが第1点です。</p> <p>第2点としては、別子小学校をめぐる問題として、別子小学校の保護者の皆さんと地区住民の方との話し合いや融和といったことも大事な要素だと思っております。これに関しては、今日陳情が撤回され、「これから地区住民の方と私たちとで話し合いをします。」とおっしゃられた時に、個人的に、「もしよろしければ、私は教育委員会の責任者ではない、いちオブザーバー、新居浜市民として参加してもよろしゅうございます」とお伝えしています。地区の皆さんで、いろいろと融和が進めばいいなと思っております。</p> <p>3点目は、これからどうしていくかという点です。これが私たちにとって1番大きな問題だと思います。1つ目は、伊藤委員さんがおっしゃったように教員補充についてです。もしも何か障がいを持たれている方がいらっしゃったら、その時には何とかこの教育委員会として柔軟に対応できないかどうか、とにかく今の小学校を充実していきたいというのが伊藤委員さんのご意見だと思います。もう1つとしては、月曜から木曜までは別子小学校で、金曜日は角野小学校でというような特別通教制度みたいなことをしてみてもどうかというアイデアに関して、伊藤委員さんがおっしゃるように、それが学校に本当にできるのかどうか、学校の先生はそれを評価するのだろうかという疑問があるのは確かだと思います。このようなことが、今日の議論の内容だと思うのですけれども、他に何かございませんか。</p> <p>私のご提案なのですが、宮内案について、2つお願いがあります。伊藤委員さんが言われましたように、このようなことが本当に可能なのかどうか、具体的にどのような印象を持っているか、学校の先生に直接訪ねていただきたい。また、制度上可能かどうか事務局で検討していただきたい。教育委員会としても保護者の方の要望に何か少しでも答えたい、一歩でも何か良くしたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p> <p>今言われたことに関しては、ここで議決ではなくて、まず事務局で考えさせてください。</p> <p>次の教育委員会までに何か情報を賜ればと思いますので、よろしく申し上げます。それでは、別子小学校についての議論を閉じさせ</p>
阿部教育長	
宮内委員長	

伊藤学校給食課長	<p>ていただきます。</p> <p>その他、何か連絡事項はございませんか。</p> <p>学校給食費未納状況を報告させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
宮内委員長	<p>ありがとうございました。その他に連絡事項はございませんか。</p>
木村総括次長	<p>8月の定例教育委員会においてご説明させていただきました毎年度行っております教育委員会の事務事業の点検評価につきまして、先般9月27日に評価委員の方々に説明会を行いました。3名の委員さんに、各課から選定しました10の事業について事業内容等の説明を行い、その後質疑応答を行って、ご意見をいただくうえでの参考としていただきました。今後におきまして、3名の委員さんから意見書を10月11日までに提出していただき、各担当課において今後の取組の方向性についての案を作成いたします。つきましては、その素案ができ次第各教育委員さんに送付させていただきますので、お目通しいただきまして、11月の定例会においてご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
宮内委員長	<p>その他に何かございませんか。</p> <p>それでは、次回の定例会の開催日を決めさせていただきたいと思っております。11月の定例会は、11月7日木曜日の15時から開催させていただきます。</p> <p>それでは、平成25年第10回新居浜市教育委員会定例会を一度閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>